

音楽をとおして子どもたちが交流 第23回庄原市東城町音楽交流会

REPORT 4

東城町内の保育所・小学校・中学校・高校が一堂に集まる東城町音楽交流会が11月11日、東城町老人福祉センターで開催され、10団体、約350人が参加しました。

この交流会は、音楽を通して子どもたちの交流を深めるため、平成元年から始まり今年で23回を迎えました。

八幡小学校児童による合唱と太鼓の演奏で幕を開けると、保育所年長児が、手話を交えて「手のひらを太陽に」を合唱。東城高校吹奏楽部の呼びかけで、園児が演奏に合わせて楽しく踊る姿もありました。また、東城小学校から参加した1、3、5年生が、合唱やエイサー（沖縄の伝統的な踊り）を踊り、会場を盛り上げました。

最後は、東城中学校吹奏楽部の演奏に合わせて、参

加者と観客席みんなで「もみじ」を大合唱し、会場が一つになりました。



▲飯山やまびこ太鼓を披露する八幡小の児童

生かされている命、みんなちがってみんないい 金子みすゞいのちのうたコンサート

REPORT 5

シンガーソングライターもりいさむさんによる「金子みすゞいのちのうたコンサート」が11月26日、総領自治振興区生涯学習部の主催により総領自治振興センターで開催されました。

もりさんは金子みすゞの詩に深い感銘を受けて以来、これまで80編の詩に曲をつけ、みすゞのうたを歌い続けています。

当日は、金子みすゞの代表作である「私と小鳥とすず」や「大漁」など全16曲を披露。参加者はしばし聞きほれていました。時折参加者も一緒になって歌うなど、終始

楽しいコンサートとなりました。

参加者は「生かされている命、大切にしないといけないと感じた」「とても心温まるコンサートだった」と話していました。



▲もりさんの歌声が響く

環境への幅広い取り組みが評価 「環境と健康のコミュニティ大賞」受賞

REPORT 6



▲表彰を受ける高原会長(右)

環境保健協会が県内各地域の活動の活性化を図ることを目的に創設しているもので、コミュニティにおける公衆衛生活動に顕著な功績があった活動に対して贈られる

庄原市公衆衛生推進協議会西城地区推進会が11月10日、「環境と健康のコミュニティ大賞」を受賞しました。

この賞は、財

物です。

同会は、昭和45年に「西城町公衆衛生推進協議会」を結成して以来、環境・健康づくり活動を続けながら、世代を超えた地域住民のつながりを深めることに貢献しています。

今回の受賞は、とうもろこしの種まき、収穫体験をする食育教室の実施や、町内のゴミステーションにポスターパネルを掲示する環境ポスター活用事業の活動など、環境・健康への幅広い取り組みが評価されました。

同会の高原芳典会長は「これまでの継続した活動が認められ、元気がもらえた。活動を通じて田舎の良さを知り、故郷への愛着心を持ってほしい」と話していました。

伝統の舞33年の式年大神楽 重要無形民俗文化財「比婆荒神神楽」

REPORT 1

比婆荒神神楽33年の式年大神楽が12月3日～4日、東城町の竹森地区で行われました。式年大神楽は、当屋と呼ばれる民家2戸を舞台にして、一昼夜神楽を舞い続けます。この33年に一度の貴重な機会を見逃すまいと、市内外から多くの見学者が詰め掛けました。

神事の一つである「猿田彦の舞」や「ござ舞」では、比婆荒神神楽保存会の若者たちが迫力ある舞を披露。見学者は、心行くまで神楽を堪能していました。

同保存会の横山邦和会長は「地元の伝統を受けつぐ後継者が着実に育っているのがうれしい」と話していました。

比婆荒神神楽は東城町、西城町、新見市、神石高原町

一帯で受け継がれ行われており、託宣（神がかり）の神事を現代に伝えていることから、非常に貴重な存在として、昭和54年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。



▲能舞(国譲りの能)

熱い声援でピッチを刻む 第31回口和走ろう会・駅伝大会

REPORT 2

庄原市体育協会口和支部が主催する第31回口和走ろう会・駅伝大会が11月23日、市役所口和支所を基点に行われました。

最初の走ろう会では、2～3kmのコースを小中学生70人が一斉に駆け抜けました。その後行われた駅伝大会では、町内一般の部12、町外一般の部7、中学生男子の部16、中学生女子の部4、の全39チームが競い合いました。

男子は17.5km、女子は15.8kmそれぞれを6区間たすきでつなぎ、ランナーは沿道の多くの皆さんの熱い声援を受けながら力走していました。

庄原市体育協会口和支部長の河野俊朗さんは「今後も大会を続けていく。もっと参加者が増えてほしい」と話していました。



▲力走するランナー

自然の難所にバイクで挑む 「水源の森ツーリングトライアルin比和」大会

REPORT 3



▲山道を駆け抜けるライダー

ツーリングトライアル実行委員会が主催する「第16回水源の森ツーリングトライアルin比和」大会が11月6日、比和町で開催されました。

今年で16回目を迎えたこの大会は、毎年、全国各地からバイク愛好家が参加。9月18日に開催し好評だったことから、今回初めての年2回開催となりました。

参加した21人は初級・中級・上級と3クラスに分かれ、比和町内を巡る約50kmのコースに設けられたセクションを、自慢のバイクで挑みました。

各セクションには、山あり、沢あり、ゲレンデありと難所が数多くあり、足をついたり、転倒してしまったりするなど、悪戦苦闘していました。

参加者は「比和の紅葉が見たくて参加した」「大自然での疾走は気持ちいい」と満足そうに話していました。

直売所の魅力と可能性を聞く 道の駅農産物直売講演会

REPORT 9

中国横断自動車道尾道松江線の開通に併せて整備が進む高野の「道の駅」開業に向け、併設される産直市で地域活性化を図ろうと11月21日、道の駅管理運営協議会と市は、上高自治振興センターで「道の駅産直講演会」を開催しました。

当日は、長野県内の直売所や産直市場が発行している産直新聞の編集長毛賀澤明宏さんが「中山間地の地域振興と直売所が果たすべき役割」と題し講演。高野と気候条件や風土がよく似た長野県の事例などをもとに、直売所が持つ魅力と可能性、出荷のコツや繁盛店の特徴などを分かりやすく語りました。

道の駅管理運営協議会の松島義治会長は「これをきっかけに高野の『道の駅』が充実し、たくさんの人で賑わえば」と期待に夢を膨らませました。

昨年12月8日からは「農産物直売講座」も開講され、3月まで全8回の開催が予定されています。



▲講演する毛賀澤編集長

これまでも、そしてこれからもつなぎ続ける 第60回庄原市スター式駅伝大会

REPORT 10



▲第15回大会(昭和41年)当時のようす



▲▼中継点でたすきをつなぎ選手たち

今年で60回を迎えた庄原市スター式駅伝大会が12月4日、上野総合公園陸上競技場を発着点に開催されました。

県内外から88チームが参加し、528人が師走の庄原路を駆け抜けました。

当日は、雨が時折降るあいにくのコンディションでしたが、女子の2部門で大会新記録が生まれ、区間でも12の大会新、タイ記録が生まれるなど、ハイレベルの争いが繰り広げられました。

大会長の東泰治さんは「参加される方、協力してくださる方々はもとより、各方面からご協力をいただいて60回の節目を迎えることができた。これからも親しまれる大会として70、80と回を重ねていけるよう大事にしていきたい」と話していました。



挑戦への熱き思いにふれる

第5回県政知事懇談「湯崎英彦の宝さがし」

REPORT 7

県知事が県内各地域を訪問して地域で挑戦している方々の話を伺い意見交換する県政知事懇談「湯崎英彦の宝探し—未来チャレンジトーク—」が11月26日、十日市コミュニティセンター(三次市)で開催されました。

初めに、広島県が進める「ひろしま未来チャレンジビジョン」の概要について湯崎知事が説明を行い、続いて地域住民の方3人による事例発表が行われました。庄原市からは、しょうばら



▲佐藤さん



▲西田さん



▲門永さん



▲湯崎知事から講評を受ける佐藤さん

花会議理事長の佐藤浩子さんが「身近な玄関先からはじめる『花と緑のまちづくり』」と題し、昨年行われた「さとやまオープンガーデン」の取り組みを発表しました。講評で湯崎知事は「考えることはできても、いざ行動に移そうとするとなかなかそうはいかない。それを実践されていることがとても素晴らしい」と絶賛していました。

その後行われた意見交換では、5人が「私の挑戦」を発表。庄原市からは西田学さん(三日市町)と門永万実さん(庄原実業高2年)が、それぞれの挑戦を発表し、その熱い思いに触れた来場者は大きな拍手を送っていました。当日の様子は県ホームページに掲載されています。

狼煙でつなぐ地域をつなぐ 戦国時代の情報伝達手段を再現

REPORT 8



▲地域をつなぐのろしりレー(庄原自治振興区会場)

戦国時代の情報伝達手段とされている「狼煙上げ」を再現するイベントが11月23日に開催され、今回は新たに西城、口和、高野、総領地域が加わり、市内12カ所がのろしりレーでつながりました。

あいにくの曇り空でしたが、他の地域から上がる狼煙を確認するたびに参加者から大きな歓声が上がっていました。またそれぞれの自治振興区で、趣向を凝らしたイ

ベントも同時に行われ、子どもから高齢者まで世代を超えた交流ができました。このイベントは来年以降も継続される予定です。狼煙プロジェクト実行委員会では狼煙上げに参加する自治振興区を募集しています。このイベントに関するお問い合わせは自治振興課(☎0824-73-1209)まで。



▲温かい豚汁の振る舞いも

ベントも同時に行われ、子どもから高齢者まで世代を超えた交流ができました。

このイベントは来年以降も継続される予定です。狼煙プロジェクト

プロジェクト実行委員会では狼煙上げに参加する自治振興区を募集しています。

このイベントに関するお問い合わせは自治振興課(☎0824-73-1209)まで。